

## ディスクンゲーム 解説 2

### Ⅲ採点の方法

**パターン1** ●: ポイント ●: 赤ディスク ●: 青ディスク

この場合は、赤(●)が青(●)より2個ポイント(●)に近いので、赤チームの2点勝ちとなります。

**パターン2**

この場合は、ポイント(●)に接している赤(●)・青(●)のディスクは等距離なので除外し、次に近いのは、下方の青(●)であるから、青チームの1点勝ちとなります。

**パターン3**

手持ち赤ディスク  
手持ち青ディスク

この場合は、投げたディスクがポイントに当たり、ポイントがコート外へ飛び出たもので、この時点でこのイニングは終了し、手持ちのディスクの差で採点します。  
青ディスク(4) - 赤ディスク(2) = 青(2)  
よって、青チームの2点勝ちとなります。同数の場合は、ノーゲームとします。

④ノーゲームとなった場合も、1イニングとしてカウントします。【例】3イニング目がノーゲームとなったら、次は4イニング目として扱う。  
コート外へ出たディスクはそのイニング中、審判員が没収しておきます。

必要用具：ディスク 12 枚、ポイント 1 枚  
 補助用具：メジャー、コート設定テープ、  
 得点表示板、投盤順番札、投盤  
 指示版（うちわなど）



### Ⅳ得点の記入方法

下図のように、イニングごとに特点数だけ○を記入、○のなかにイニングの回数を書きます。

1 イニング赤の3点勝ち、2 イニングは青が2点獲得、こうして早く7点に到達したチームが勝ち、反則点の記入は○の代わりに△とし、同じく△の中にイニング数を書きます。

勝敗を決定する7点に、片方はコート上の得点で他方は反則ペナルティにより到達した場合は、

コート上の得点を優先します。下表では赤チームの勝ち

図のように野球のように記録して合計で勝敗をきめる方法もあります。

ちょっと難しいところもありますが、実際はゲームに精通した審判員がカウントをしますのであまり気にする必要はありません

イニング	赤チーム	青チーム
1	3	0
2	0	2
3	1	0
4	0	3
5	1	0
6	0	1
7	2	△1
計	7	7

